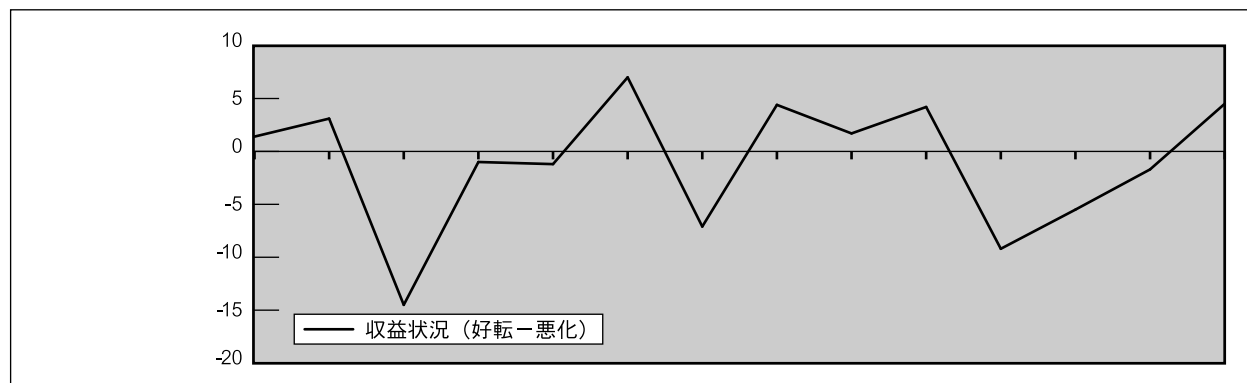


## IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	（%）見込 予測													
	16 年		17 年				18 年				19 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
好 転	22.1	22.4	17.7	19.7	21.0	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	13.6	15.7
横 ば い	57.1	58.3	50.1	59.6	56.8	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	71.0	73.1
悪 化	20.7	19.3	32.2	20.7	22.2	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	15.4	11.2
D . I .	1.4	3.1	-14.5	-1.0	-1.2	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-1.7	4.5



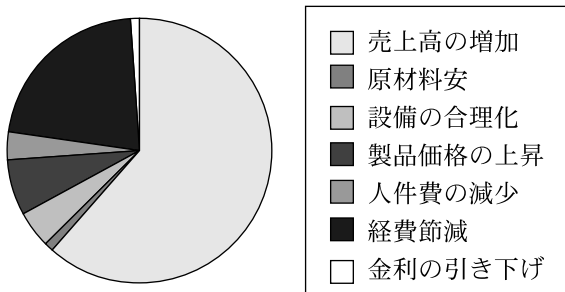
好転理由

期別 種別	（%）見込 予測													
	16 年		17 年				18 年				19 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
売上高の増加	64.0	75.7	74.4	69.7	65.5	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	64.5	69.2
原 材 料 安	1.8	1.7	2.3	5.1	2.6	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	0.0	1.3
設備の合理化	1.8	2.6	4.7	0.0	2.6	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	2.6	1.3
製品価格の上昇	5.3	4.3	5.8	8.1	7.8	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.9	3.8
人件費の減少	7.9	4.3	3.5	2.0	6.9	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.9	3.8
経 費 節 減	17.5	11.3	9.3	15.2	14.7	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	21.1	20.5
金利の引き下げ	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0

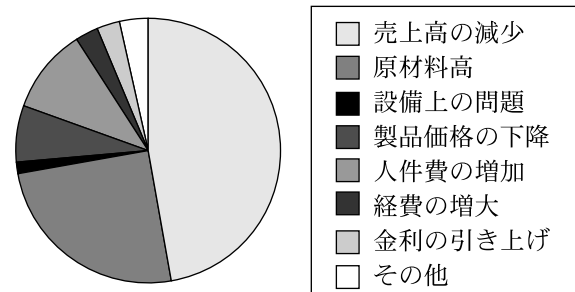
悪化理由

期別 種別	（%）見込 予測													
	16 年		17 年				18 年				19 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
売上高の減少	51.7	57.7	60.0	49.6	48.4	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	40.2	39.5
原 材 料 高	19.0	18.3	21.1	19.8	19.8	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	34.6	33.3
設備上の問題	0.0	0.0	0.6	1.7	3.2	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	0.9	0.0
製品価格の下降	12.9	14.4	7.4	9.1	8.7	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	3.7	4.9
経 費 の 増 大	8.6	4.8	7.4	10.7	9.5	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	9.3	8.6
人件費の増加	5.2	1.9	1.7	5.8	5.6	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	2.8	2.5
金利の引き上げ	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	2.8	6.2
そ の 他	2.6	2.9	1.8	2.5	4.8	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	5.6	4.9

好転理由



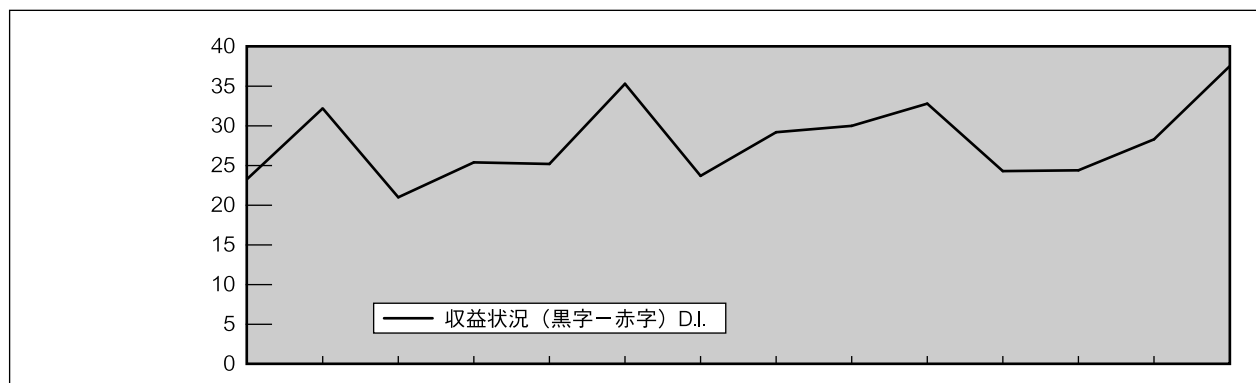
悪化理由



- (1) 4～6月期収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲5.5と前期比3.7ポイント悪化した。先行きについては、19年7～9月期D.I.は▲1.7と19年4～6月期実績より3.8ポイントの好転を見込んでいる。19年10～12期予測でもプラス予測となっている。
- (2) 「収益状況が好転した」理由、4～6月期実績は、①売上高の増加、②経費節減となっている。順位は前回と変わっていないが、売上の増加ポイントが低下している。先行きでも、「売上高の増加」が大幅な理由としている。「経費節減」も依然高い理由となっている。
- (3) 「収益状況が悪化した」理由、4～6月期実績は、①売上高の減少、②原材料高となっている。前期とかわらないが、売上高の減少ポイントが低下し、原材料高ポイントが増加している。先行きについても、原材料高を悪化の理由とする企業が増加している。  
7～9月期は9.6ポイント更に増加している。原油高騰が起因する、素材高・燃料費の増加が感じられる。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	16年		17年				18年				19年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	44.7	48.2	43.3	44.8	44.1	48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	40.4	45.3
収支トントン	34.0	35.8	34.5	35.7	37.0	38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	47.5	46.8
償却後赤字	21.4	16.0	22.2	19.5	18.9	13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	12.1	7.8
D . I .	23.3	32.2	21.0	25.4	25.2	35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	28.3	37.5



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、18年4～6月期以降改善し、10～12月期は32.8であったが、19年1～3月期は24.3、4～6月期は24.4とやや低下している。例年1～3月期は悪化しており、季節的要因が考えられる。19年4～6月期実績では81.4%の企業が黒字もしくは収支トントンと回答している。先行きでも、80%以上の企業が黒字もしくは収支トントンと回答しており、ポイントも増加している。